

令和2年度入学生用カリキュラムマップ

【経営学科】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号							
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性	
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2					
20UBAA1101	初期演習Ⅰ	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。また、社会人基礎力の修得の必要性を理解し、キャリアパスを自ら構築する。	修学する主体性と考える力を身につけ、自らのキャリアパスを組み立てる力を身につける。 社会人基礎力の必要性を理解し、十分なコミュニケーション能力を身につける。			◎	◎	◎	○	◎	◎
20UBAA1102	初期演習Ⅱ（経営）	1	自主的に学び、新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。また、グループワーク活動を通じて、経営における問題解決技法としてのプロジェクト企画運営方法やリーダーシップ、コミュニケーション力を養成する。	自ら考える力、考える筋道を見出す思考力を身につけ、正解が一つではない問いへの対応に慣れる。 社会で生じる様々な場面、問題を疑似的に経験する。 仲間と協働し、仲間からの刺激を受けてアイデアを創発する力を身につける。			◎	◎	◎	○	◎	◎
20UBAA2103	経営課題演習Ⅰ	2	社会的ニーズを持つ経営課題について、実証的な資料やデータから具体的な事業提案を行うことを目的とする。	学生が、提示された経営課題に対して、有効な資料やデータの収集を行い、その課題の解決をビジネスチャンスにつなげるロジカルな事業を立案できるようになることが目標である。		○			○	◎		
20UBAA2104	経営課題演習Ⅱ	2	社会的ニーズを持つ経営課題について、実証的な資料やデータから具体的な事業提案を行うことを目的とする。	学生が、提示された経営課題に対して、有効な資料やデータの収集を行い、その課題の解決をビジネスチャンスにつなげるロジカルな事業を立案できるようになることが目標である。		○			○	◎		
20UBAA1201	Oral Communication	1	英語でコミュニケーションを図る際のフォーマットを確認し、実際に「使う」ことを経験しながら、コミュニケーション能力を養う。	英語の基礎的な語彙や文法の知識を活用しながら、インタラクティブな活動を通して、様々な状況での基本的な実用会話ができる。		○		◎				◎
20UBAA1202	Business EnglishⅠ	1	この授業では学生がビジネス現場での適切な英語の用法を知り、使えるようになることを目的とする。	学生がビジネスシーンにおける丁寧な挨拶・報告を適切にできるようになり、専門的なビジネス記事を読解できるようになる。		○		◎				◎
20UBAA2203	Business EnglishⅡ	2	この授業では学生がビジネス現場での適切な英語の用法を知り、使えるようになることを目的とする。	学生がビジネスシーンにおける丁寧な挨拶・報告を適切にできるようになり、専門的なビジネス記事を読解できるようになる。		○		◎				◎
20UBAA1301	情報リテラシーⅠ	1	経営に必要な情報を獲得・利用するために、どのようにデータを収集し、そのデータから構成されるデータベースにどのような処理をすることで必要な情報に変換できるかを理解し実行するとともに、情報を的確に伝達するための図表、文書、スライドが作成できるようになることを目的とする。	データの収集方法が理解できる。収集したデータに対して、OAソフトを活用して、目的に応じた簡潔な報告書と発表用スライドが作成できる。		◎	○					
20UBAA1302	情報リテラシーⅡ	1	高度な統計的手法に加え、データベース操作、単純作業を処理するためのプログラミング、情報を発信するためのウェブページの作成について基本の習得を目指し、情報リテラシーの向上を図る。	アクセスを利用して複数のテーブルをキーに基づいて結合したり、複雑な条件でデータを抽出できる。 プログラミングの基礎が理解でき、Visual Basicで簡単なプログラムが作成できる。 HTMLおよびPHPでインターネット上に簡単なウェブサイトを開設できる。		◎	○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
20UBAA1401	経営学入門	1	経営学の基礎的な概念や理論、現代の経営をとりまく社会や経済に関する基礎的な知識を獲得することを目的とする。すなわち、経営学が取り扱う各領域（企業論、経営組織論、経営戦略論、マーケティング、マクロ・ミクロ組織論、国際経営論など）にふれ、経営学の全体像を考察する。	経営学の基本的な概念や理論について説明できる。企業活動の事例を通じて、企業の経営に関する工夫や問題点を理解することができる。	◎	○					○		
20UBAA1402	経営組織論	1	組織に関する基礎的な概念および理論を理解し、実際の組織やその構成員である個人の行動について、組織論の概念および理論で説明できるようになることを目的とする。	実際の組織やその構成員である個人の行動について、組織論の概念および理論で説明できる。	◎	○							
20UBAA1403	ビジネスプラン構築論	1	この授業では、学生がビジネスプランをどのようにして構築していくのか学び理解できるようになることを目的とする。	学生が事例を通してビジネスプランの躍動感に気づき、様々なビジネスフレーム作成を体験することでビジネスプラン構築の本質を理解できるようになる。	◎	◎	◎				○		
20UBAA2404	経営戦略論入門	2	経営戦略に関する基礎的な概念および理論を理解し、企業の行動の背景にある経営戦略がどのようなものなのかを説明できるようになることを目的とする。	企業の行動について経営戦略の基礎的な概念や理論で説明できる。	◎	○					○		
20UBAA2405	経営環境論	2	企業を取り巻く経営環境は大きく転換してきており、世界的に深刻な問題に直面するようになってきているが、今後30～40年の間における世界的な問題の多くは現時点で十分予測可能なものである。本講義では、企業を取り巻くメガトレンドについて学び、将来のキャリア設計に対する考えを深める。	今後30～40年の間に起こる世界的な経営環境変化の方向性について理解する。そうした変化がもたらす課題をいかに解決するかがビジネスチャンスであると理解する。	◎	◎			○	○			
20UBAA2406	労使コミュニケーション論	2	労働組合をはじめとする労働者組織による労使コミュニケーションの現状を知り、働く人々が直面する様々な問題の改善・解決方法を学び、日本社会の職業生活と家庭生活の将来を考える。	労働者組織の活動と役割について類推できる。日本の労使コミュニケーションについて意見を述べることができる。	◎	○							
20UBAA2407	協働プロジェクト論	2	この授業は、ワークショップ形式での協働プロジェクト立ち上げを経験することで、イノベーションを喚起する人財の育成を目的とする。	①協働プロジェクトの分野・領域・テーマ・課題を設定できる。 ②協働プロジェクトのテーマにおける本質的課題としての「やるべきこと」を明確にできる。 ③協働プロジェクトのテーマにおける「やるべきこと」に対し、協働先を想定し、「強み」を持ち寄ることで、プランを策定できる。		○	◎	◎	○	○			○
20UBAA2408	組織行動論	2	企業をはじめとする組織の内部で働く人間が、組織とどのように関わり、どのように行動するのかを経営学理論の視点から理解する。	組織内のメンバーの行動様式を類推できる。リーダーシップについて説明できる。職場で積極的に協働することを準備できる。	◎	○							
20UBAA1409	会計入門	1	会計学科目の学習に必要な基礎的な会計学の内容を身につけることを目的とする。また、ビジネスマンの基礎的素養として経済記事の理解ができるようになることを目的とする。	経済記事を読むことができるようになる。これから学習する科目の基礎を身につける。	◎	○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
20UBAA2425	ヴィジュアルマーチャンダイジング	2	店頭の品揃えをクリエイティブ・ファーストの視点、デザイン優位の思考からはじめ、店舗の出店計画、売上計画を一貫して想定できるようにする。	消費地点の表現からマーケティング戦術を考える力を養う。	◎	○								
20UBAA1426	パブリックマネジメント入門	1	社会には様々な課題が存在するが、住民が暮らしを維持していくためにはその課題を解決し、さらに将来を見据えた取り組みを行うことが必要となる。本科目では、公共経営の基礎となる社会の仕組み、日本とその地域が置かれている状況、地域づくりの実際について基本的な知識を習得することを目的とする。	社会の仕組みを理解し、地域と社会を将来に向けて維持していくためには何が必要かを考える知識と思考力を身につける。	◎	○			○	◎				
20UBAA1427	法律入門Ⅰ	1	憲法の主要なテーマについて、条文と共に学説・判例を学ぶことにより、憲法の基礎的知識の習得を目指す。	憲法についての基礎的知識を修得するとともに、憲法問題について自ら考えられるようになる。	◎	○								
20UBAA1428	法律入門Ⅱ	1	憲法の主要なテーマについて、条文と共に学説・判例を学ぶことにより、憲法の基礎的知識の習得を目指す。	憲法についての基礎的知識を修得するとともに、憲法問題について自ら考えられるようになる。	◎	○								
20UBAA1429	民法入門Ⅰ	1	この科目では、学生が、民法の全体像、および総則・物権法についての基礎を理解し、使いこなせることになることを目的とする。	学生が、民法の全体像、および総則・物権法の基礎知識を習得し、日常生活において、これらの法律に基づく思考や判断ができるようになる。	◎	○								
20UBAA2430	民法入門Ⅱ	2	この科目では、学生が、民法の全体像、および債権法についての基礎を理解し、使いこなせることになることを目的とする。	学生が、民法の全体像、および債権法の基礎知識を習得し、日常生活において、これらの法律に基づく思考や判断ができるようになる。	◎	○								
20UBAA1431	地域振興論	1	地域振興の主体となる中小企業に焦点をあて、地域振興との関連や地域振興への取組について考察することを目的とする。	地域振興がなぜ必要なのか自らの言葉で説明できる。自らの関わる地域に関して、問題点や地域振興のあり方について考察できる。	◎	○			○	◎				
20UBAA2432	中小企業イノベーション論	2	イノベーションに関する基本的な理論やベンチャーを中心とする起業家によるイノベーションについて学び、中小企業による現実性を有するイノベーションのあり方について考察することを目的とする。	イノベーションと経済活性化の関係について理解できるようにする。イノベーション創出において企業家に求められる要件や企業家を育てるために必要な施策について考察できる。	◎	○			○	◎				
20UBAA2433	企業の社会連携論	2	企業の活動と社会の課題をいかに結びつけるかを戦略的に経営に生かそうという試みについて考察することを目的とする。	企業の社会連携についての基礎的な知識を持ち、有効な手法が理解できる。企業の経営について社会連携の視点から考えることができる。	◎	○			○	◎				
20UBAA2434	公共総合基礎演習Ⅰ	2	公共政策は、個人では解決が困難な公益性をもつ問題に対し、社会全体で対処すべきと認識された活動指針のことである。この演習では、法律と経済学の観点より、具体的な事例をもとに公共政策に関わる問題とその解決策を学んでいくことを目的とする。	学生が、社会における共通利益が何かを認識し、かつ、それらに対して論理的に議論を整理し、解決策を導き出せるようになることが目標である。		◎			○	◎	○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
20UBAA2435	公共総合基礎演習Ⅱ	2	公共政策は、個人では解決が困難な公益性をもつ問題に対し、社会全体で対処すべきと認識された活動指針のことである。この演習では、我々を取り巻く社会環境において、法律と経済学の観点より、具体的な事例をもとに公共施策に関わる問題とその解決策を学んでいくことを目的とする。	学生が、社会における共通利益が何かを認識し、かつ、それらに対して論理的に議論を整理し、解決策を導き出せるようになることが目標である。		◎				○	◎	○	
20UBAA2436	C S R	2	世界経済の歴史や企業のこれまでの歩みを振り返りながら、CSRに関する基本的理論と世界的な潮流を理解し、現代社会において求められる企業の役割と企業人の倫理観に関する理解を深めることを目的とする。	現代社会において求められる企業の役割と企業人の倫理観について理解できる。	◎	○							◎
20UBAA1437	ビジネスシンキング	1	ロジカル・シンキングでは、ビジネス文書を書くことを目指し、その根底にあるロジカルな思考方法を学ぶことを目的とする。デザイン・シンキングでは、飛躍的な発想でまったく新しい事業、商品やサービス等を創る創造的問題解決の方法を学び、デザイン思考に着手できるようになることを目的とする。	ビジネスで求められるロジカルな思考方法を理解し、ビジネス上の問題点を整理できるようになる。 デザイン・シンキングのプロセスと方法を理解し、身の回りの課題に適用できるようになる。		◎	◎				○		
20UBAA1438	論理と数理入門	1	大学生活を有意義に過ごすためには与えられた「情報」をどのように整理し、どのように処理（作業）をしていくのかという「力」が必要となる。こうした「力」は意識しなければ自然と身につくものではないが、訓練により誰もその「スキル」が向上していくものである。この授業では、大学生として今後、就活等でも必要となる「社会人基礎能力」の基礎となる「力」を訓練していくことを目的とする。	第一に、論理や数理能力が社会や自分の身近な生活にとって、関連性が希薄とされている学生を対象に、筋道立てて論理的に考え、それらを簡単な数式で表現することの「面白さ」と「楽しさ」を実感してもらうこととする。第二に、初等的な数学知識を使い、基礎的計算テクニックの向上、文章題から必要な「情報」を整理し、簡単な「数式」を導き出せることを目標とする。		◎	○						
20UBAA1439	消費者行動論	1	消費者としての役割と行動は、誰にでも当てはまる日常的で身近な社会的行動の一つである。この授業では、消費者の行動を社会的文脈の中で捉えて考察し、理解することを目指す。	学生が、消費者の行動を社会的文脈の中で捉えて考察することができるようになることで、私たちの日常的な行動についての理解を深める。	◎	○							
20UBAA2440	デザイン思考	2	市場創造、事業創造に必要な思考法の手順、ツールの知識習得およびその活用について理解する。	デザイン思考の全体像および他の類似思考法との違いを理解し、基本的な思考手順、ツールの特性を理解できるようになる。		◎	◎		○	○			
20UBAA1441	ロジカルシンキング	1	この授業では、学生が将来ビジネスで活躍し広く社会の問題解決を行うために必要となる、実践的な思考法を学び、活用することができるようになることを目的とする。	学生が、ロジカルシンキングの流れを理解し、日頃からそれを活用する姿勢を身につけ、今後思考や議論の中で研鑽を重ねていく素地を作る。		◎	◎		○	○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
20UBAA2442	社会心理学	2	私たちの心の働きを考える一つの視点として、他者とのかかわりを重視する社会心理学的立場がある。特に、個人と集団、あるいは個人と社会との相互作用に着目して、私たちの心の働きを考える。この講義はこうした社会心理学的視点から私たちの心の働きを捉え、私たちの日常的な行動について理解を深めることを目指す。	学生が、私たちの心の働きについて、社会的文脈の中で考察することができるようになることで、私たちの日常的な行動についての理解を深める。	◎	○								
20UBAA1443	キャリアデザイン特講Ⅰ	1	実際に社会で活躍している女性の仕事内容・仕事の意義・キャリアの築き方など実体験を学ぶことで、多様な仕事内容・キャリアプランを理解し、自らのキャリアプランおよび大学生活の過ごし方を深く考えることを目的としている。	女性が活躍する多様な仕事内容・業界を理解する。 女性の社会でのキャリアの築き方について理解する。 女性ロールモデルを通じて、自らのキャリアプランおよび大学生活の過ごし方について深く考える。			◎		◎	○	◎			
20UBAA3444	キャリアデザイン特講Ⅱ	3	卒業後のキャリアを考えるきっかけとなるように、経営学部の3つのスタディーズに即したテーマを選び、ゲストの話題提供を含めて考えていく。この中で受講者が自分自身を確立し、社会へ踏み出す力を養うことを目的とする。	女性のキャリアのあり方について考えることができる。 ゲストの話題提供を通して自己理解を進めることができる。 地域社会の姿や企業経営の課題などについて理解できる			◎		◎	○	◎			
20UBAA1501	実践へのいざない	1	経営学部の実践科目であるインターンシップ、サービスマーケティング、フィールドワークの履修に先立ち、実践の意味と重要性、実践科目に必要な基礎的な技能を習得することを目的とする。	経営学部における実践活動の意義と重要性を理解している。 インターンシップ、サービスマーケティング、フィールドワークそれぞれの特徴と進め方について理解している。 3つのスタディーズの特徴と、そこでの実践活動について理解している。 実践活動の計画を立て実施することができる。				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
20UBAA1502	インターンシップⅠ	1-4	国内外の民間企業を中心に、官公庁、自治体、非営利組織、コミュニティ等の多様な組織での就労体験を通じ、実社会で働くことの意味を理解すると同時に、自分の適性や能力を理解することを目的とする。	様々な仕事や業務を理解し、ビジネスパーソンとして必要な知識・態度を習得する。 インターンシップを通じて、自分の関心や適性に気づき、キャリアプランを確立できる。 大学で学んだ学習内容と実社会での経験を結び付け、より学習効果および学習意欲を高める。				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
20UBAA1503	インターンシップⅡ	1-4	国内外の民間企業を中心に、官公庁、自治体、非営利組織、コミュニティ等の多様な組織での就労体験を通じ、実社会で働くことの意味を理解すると同時に、自分の適性や能力を理解することを目的とする。	様々な仕事や業務を理解し、ビジネスパーソンとして必要な知識・態度を習得する。 インターンシップを通じて、自分の関心や適性に気づき、キャリアプランを確立できる。 大学で学んだ学習内容と実社会での経験を結び付け、より学習効果および学習意欲を高める。				◎	◎	◎	◎	◎	◎	
20UBAA1504	インターンシップⅢ	1-4	国内外の民間企業を中心に、官公庁、自治体、非営利組織、コミュニティ等の多様な組織での就労体験を通じ、実社会で働くことの意味を理解すると同時に、自分の適性や能力を理解することを目的とする。	様々な仕事や業務を理解し、ビジネスパーソンとして必要な知識・態度を習得する。 インターンシップを通じて、自分の関心や適性に気づき、キャリアプランを確立できる。 大学で学んだ学習内容と実社会での経験を結び付け、より学習効果および学習意欲を高める。				◎	◎	◎	◎	◎	◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
20UBAA1505	サービスマーケティングⅠ	1-4	学生がボランティア活動の経験を大学での教育や研究と結びさせ、学習効果を高めるとともに、学生が社会人として、市民として、地域と結びつき、様々な職場や地域住民と協働することで、地域への正統的周辺参加の手がかりを得ることを目的とする。	ボランティア活動を通じて、社会人として必要な知識や態度を習得する。 ボランティア活動を通じて、自分の関心や適性に気づく。 大学で学んだ学習内容と実社会での経験を結び付け、より学習効果および学習意欲を高められる。				◎	◎	◎	◎	◎	
20UBAA1506	サービスマーケティングⅡ	1-4	学生がボランティア活動の経験を大学での教育や研究と結びさせ、学習効果を高めるとともに、学生が社会人として、市民として、地域と結びつき、様々な職場や地域住民と協働することで、地域への正統的周辺参加の手がかりを得ることを目的とする。	ボランティア活動を通じて、社会人として必要な知識や態度を習得する。 ボランティア活動を通じて、自分の関心や適性に気づく。 大学で学んだ学習内容と実社会での経験を結び付け、より学習効果および学習意欲を高められる。				◎	◎	◎	◎	◎	
20UBAA1507	サービスマーケティングⅢ	1-4	学生がボランティア活動の経験を大学での教育や研究と結びさせ、学習効果を高めるとともに、学生が社会人として、市民として、地域と結びつき、様々な職場や地域住民と協働することで、地域への正統的周辺参加の手がかりを得ることを目的とする。	ボランティア活動を通じて、社会人として必要な知識や態度を習得する。 ボランティア活動を通じて、自分の関心や適性に気づく。 大学で学んだ学習内容と実社会での経験を結び付け、より学習効果および学習意欲を高められる。				◎	◎	◎	◎	◎	
20UBAA1508	フィールドワークⅠ	1-4	フィールドワークは、調べようとする出来事が起きているその現場（＝現場）に身を置いて調査（参与観察）することである。人や集団が持つ規範や文化、風俗について「まず先入観なく体験する」というプロセスを重視しながら客観的な仮説や法則を抽出する方法を学ぶ。	対象となる人や集団についての五感を通じた体験を通して、自分の関心や適性に気づく。 対象となる人や集団について、客観的な仮説や法則が抽出できる。 大学で学んだ学習内容とフィールドでの体験を結び付け、学習効果と学習意欲を高められる。				◎	◎	◎	◎	◎	
20UBAA1509	フィールドワークⅡ	1-4	フィールドワークは、調べようとする出来事が起きているその現場（＝field）に身を置いて調査（参与観察）することである。人や集団が持つ規範や文化、風俗について「まず先入観なく体験する」というプロセスを重視しながら客観的な仮説や法則を抽出する方法を学ぶ。	対象となる人や集団についての五感を通じた体験を通して、自分の関心や適性に気づく。 対象となる人や集団について、客観的な仮説や法則が抽出できる。 大学で学んだ学習内容とフィールドでの体験を結び付け、学習効果と学習意欲を高められる。				◎	◎	◎	◎	◎	
20UBAA1510	フィールドワークⅢ	1-4	フィールドワークは、調べようとする出来事が起きているその現場（＝field）に身を置いて調査（参与観察）することである。人や集団が持つ規範や文化、風俗について「まず先入観なく体験する」というプロセスを重視しながら客観的な仮説や法則を抽出する方法を学ぶ。	対象となる人や集団についての五感を通じた体験を通して、自分の関心や適性に気づく。 対象となる人や集団について、客観的な仮説や法則が抽出できる。 大学で学んだ学習内容とフィールドでの体験を結び付け、学習効果と学習意欲を高められる。				◎	◎	◎	◎	◎	
20UBAB2101	経営管理論	2	企業をはじめとする組織のマネジメントの内部に立ち入り、経営者が管理する組織が直面する課題に対する解決の方法と過程について理論的に理解する。	組織の管理運営の方法を類推できる。 経営管理について意見を述べることができる。	◎	○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号							
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性	
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2					
20UBAB2102	流通小売論	2	百貨店や食品スーパー、ドラッグストアやホームセンターなど様々な小売業の特徴と具体例について体系的に学ぶ。また、小売業を支える中間流通業者やロジスティックスについても学ぶことで、流通小売業界の全体像を理解する。	様々な小売業の特徴と具体例について理解できる。 流通の基本概念・理論について理解し、わかりやすく説明できる。 小売業を支える中間業者やロジスティックスについて理解できる。	◎	○						
20UBAB2103	財務会計論Ⅰ	2	企業の成績表である財務諸表の理解ができ、新聞などの経済記事の理解が深まるようにし、それにより、企業社会の動きがわかるようにする。	企業会計の社会的役割を理解できるようになり、決算書内容の理解ができる。 経済記事の内容が理解でき、企業社会の動きがわかる。	◎	○						
20UBAB2104	管理会計論Ⅰ	2	企業が直面する様々な状況において、もっとも有効なマネジメント手法とは何かを考え、それを活用することによってマネジメント問題の解決を図ることがこの授業の目的である。	(1) 売上高・費用・利益の関係を説明できる。 (2) 管理会計の基本的な考え方が説明できる。 (3) 企業が直面する様々なマネジメント問題に対し、有効な解決策が提案できる。	◎	○						
20UBAB3105	経営戦略論Ⅰ	3	事業戦略および全社戦略に関する概念および理論を理解し、実際の企業の事業戦略および全社戦略の背景にある論理を説明できるようになることを目的とする。	実際の企業の事業戦略および全社戦略について、経営戦略の概念や理論でその背景にある論理を説明できる。	◎	○				○		
20UBAB3106	マーケティング戦略論	3	顧客創造に焦点をあてたマーケティングデザインおよび戦略と仕組みづくりに焦点をあてたマーケティングマネジメントを学ぶ。	マーケティング戦略およびマーケティング計画の立案ができる。 マーケティングミックスの観点で、マーケティングデザインができる。	◎	○						
20UBAB3107	AI戦略論	3	AIの基本的な仕組みを知り、どのようにビジネスに生かさせるのか、どうすれば企業はAIを活用できるようになるのかを理解することを目的とする。	AIの仕組みについて概要を説明できるようになる。 AIがどのようにビジネスに使われているのかを説明できるようになる。	◎	○						
20UBAB3108	商品企画論	3	商品企画に関する基礎理論を理解し、実践で使われる具体的方法を習得することを目的とする。	一つの商品が誕生するまでの企画プロセスを理解し、その企画に使われる具体的な手法を習得する。	◎	○						
20UBAB3109	ビジネスモデル論	3	ビジネスモデルに関する概念および理論を理解し、学んだ概念および理論の視点で実際のビジネスを説明できるようになることを目標とする。	ビジネスモデルに関する概念および理論の視点で実際のビジネスを説明できる。	◎	○						
20UBAB3110	中小企業論	3	「働く」視点から中小企業への理解を深めるとともに、中小企業を積極的に評価し、中小企業が働く場として重要な意義を持つことについて考察することを目的とする。	働く場としての中小企業や起業の重要性、あるいは中小企業存立の意義について自らの言葉で説明できる。 中小企業政策のあり方や中小企業を巡る諸問題について、当事者意識を持ち議論できる。	◎	○						
20UBAB3111	財務会計論Ⅱ	3	企業の成績表である財務諸表の理解ができ、新聞などの経済記事の理解が深まるようにし、それにより、企業社会の動きがわかるようにする。	企業会計の社会的役割を理解できるようになり、決算書内容の理解ができる。 経済記事の内容が理解でき、企業社会の動きがわかる。	◎	○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
20UBAB3112	人的資源管理論	3	企業をはじめとする組織の経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）のうち、ヒト（働く人々）の管理の内容と展開について理論的に理解する。	働く人々の管理の内容を類推できる。 労働条件の決定方法を説明できる。	◎	○							
20UBAB3113	対人関係論	3	私たちの集団や組織、あるいは社会や文化が、私たちの関係性によって作られていることを学ぶとともに、自己や他者の行動を自己責任に帰結せずに考える視点があることを理解する。	学生が、関係性の視点から自己や他者を考えることができるようになることで、自己や他者の行動についての理解を深めることができる。	◎	○							
20UBAB3114	労働経済論	3	働く人々の報酬、労働時間、職場環境、人材育成、多様な働き方など、労働と雇用の問題を経済学の視点から理論的に理解する。	労働経済の現況を説明できる。 仕事と働き方について類推できる。 職場で積極的にキャリアを形成することを準備できる。	◎	○							
20UBAB3115	ベンチャービジネス論	3	この授業では、学生がベンチャービジネスの特異性について学び、社会人として生きていくためのヒントを習得することを目的とする。	学生がベンチャービジネスの着眼点、専門性、資金調達、イノベーション、情熱などの特異性を理解して、自らがベンチャーやベンチャー支援者となりうる可能性を見つけ出せるようになる。	◎	○				○			
20UBAB3116	企業情報システムⅡ	3	この授業では、学生が企業の営みと情報システムとの関係を学び、情報技術（IT）の発達とともに企業が情報システムをどのような目的で導入し、また、利活用してきたのが理解できるようになることを目的とする。	学生が、企業の諸活動における情報システムの必要性や利活用の実態、および情報システムの導入において留意しなければならない管理上の要点を理解できるようになる。	◎	○							
20UBAB3117	管理会計論Ⅱ	3	企業が直面する様々な状況において、もっとも有効なマネジメント手法とは何かを考え、それを活用することによってマネジメント問題の解決を図ることがこの授業の目的である。	(1) 伝統的コストマネジメントの特徴を説明できる。 (2) 戦略的コストマネジメントの特徴を説明できる。 (3) 企業が直面する様々なマネジメント問題に対し、有効な解決策が提案できる。	◎	○							
20UBAB3118	経営戦略論Ⅱ	3	業界および企業について、経営戦略論入門と経営戦略論Ⅰで学んだ「業界および企業を戦略の視点から分析する概念・理論」を使って分析することができるようになることを目的とする。	業界および企業について、経営戦略論入門と経営戦略論Ⅰで学んだ「業界および企業を戦略の視点から分析する概念・理論」を使って分析することができる。	◎	○				○			
20UBAB3119	デジタル戦略論	3	情報技術、デジタルビジネスモデル、デジタル経営アクティビティ、アプリケーションなどの概要を通して、未来のマーケット、組織、社会におけるITや経営の可能性を理解できるようになることを目的とする。	情報技術がビジネスモデルをどのように変化させるかについて述べるができる。 デジタル戦略とビジネスモデルの位置づけから生じる多くの組織的影響を解釈することができる。	◎	○							
20UBAB3120	パブリックリレーションズ	3	企業における広報活動の体系を学び、広報活動の分類と広報が果たす重要な役割について理解できることを目的とする。	企業広報活動の全体像を把握し、広報活動の分類と広報が果たす重要な役割について理解できる。	◎	○							
20UBAB3121	広告・セールスプロモーション	3	広告の基礎と広告を取り巻く環境を体系的に学習することにより、広告・セールスプロモーションが果たす社会的役割について理解できることを目的とする。	学生が広告の基礎と広告を取り巻く環境を体系的に学習することにより、広告・セールスプロモーションが果たす社会的役割を理解できる。	◎	○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
20UBAB3207	ビジネスライティング	3	この科目では学生が、基本的な英文ビジネスEメールのやり取りについて学び、様々なシチュエーションに応じて英文Eメールが書けるようになることを目的とする。	学生が、なるべく短時間で正確にビジネス文書を読み取り、的確に伝わる実用的な英文Eメールを書けるようになる。		◎							
20UBAB3208	スピーチプレゼンテーション	3	この科目では、学生が、効果的に伝わる英語プレゼンテーションの方法を学び、実践とピアラーニングを通じて、プレゼンテーション力を向上させることを目的とする。	学生が、英語スピーチプレゼンテーションで使われるシンプルでわかりやすい表現を身につけ、自信を持って人前で英語を話し、聞き手の立場にたったプレゼンテーションを実践できるようになる。		◎		◎					
20UBAB3209	経験価値マネジメント	3	なぜ顧客経験が最重要経営課題の一つになっているのかを理解し、その上でこの顧客経験をデザインし、提供し、そして改良を続けていく企業の活動プロセスを理解することを目的とする。	なぜ顧客経験が重要なのかを説明できる。顧客経験で差別化を果たしている企業についてその成功の理由を説明できる。顧客経験のマネジメントプロセスを説明できる。	◎	○							
20UBAB3210	グローバル経営論	3	世界の優良企業は自社の「組織能力」（ケイパビリティ）を理解し、それをさらに強化するような戦略をとることで、自社の独自性を伸ばしている。このような企業経営のスタイルを理解することで、いわゆる日本的経営の課題の理解にも役に立つ。	現代におけるグローバルな優良企業の取っている戦略について理解する。グローバル企業が一般的に用いている組織論について、日本的経営との対比を踏まえて理解する。	◎	○				◎			○
20UBAB3211	グローバル製品開発論	3	グローバル製品開発活動が、単一国にあてた製品開発とどのように異なるかを説明し、グローバル製品開発の枠組みを理解することを目的とする。	グローバル製品開発の基本的な概念やプロセスについて説明できる。単一国にあてた製品開発とグローバル製品開発との複雑性の違いを説明することができる。企業活動の事例を通じて、企業のグローバル戦略に関する工夫や問題点を理解することができる。	◎	○				◎			○
20UBAB3212	ブランド戦略論	3	ブランド理論の誕生から、ポートフォリオ戦略まで、ブランドが進化していくプロセスを学び、ブランドの構造と戦略体系が理解できることを目的とする。	ブランドの構造と戦略体系が理解できる。	◎	○							
20UBAB3213	企業の投資意思決定	3	企業が資金を投資して価値を生み出す際の判断手法をコーポレート・ファイナンス（企業財務）の理論をもとに学び、企業がどのように投資判断を行うのかを理解することを目指す。	正味現在価値法（NPV）に基づく定量的意思決定について理解する。NPV法の課題を理解し、その解決のための手法について理解する。	◎	○							
20UBAB3214	M&Aと企業価値評価	3	この授業では、学生がM&Aの主要なプロセスを追体験することによって、M&Aを通じた成長戦略実現や企業価値向上に貢献できる人材となっていくための基盤づくりを目的とする。	学生が、M&Aを体系的に学習し、経営戦略やファイナンス的思考などの実践のスキルを身につけることによって、M&Aとは何か、M&Aを行っている企業が何を考え、どのように行動し、企業価値を高める努力をしているかが理解できるようになる。	◎	○							
20UBAB3215	新興国企業論	3	この授業では、学生が将来国際的にビジネスで活躍する素地を作るため、新興国発の多国籍企業を題材に、グローバル経営手法の多様なあり方を理解できるようになることを目的とする。	学生が、新興国発の多国籍企業の特徴を理解し、経営手法のパターンを客観的に捉える姿勢を身につけ、企業のグローバル化について自分なりに考えることができるようになる。	◎	○				◎			○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号							
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性	
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2					
20UBAB2301	パブリックマネジメント	2	都市や地域社会を維持していくためには、住民の暮らしに必要なサービスを行政や民間企業、住民などが役割分担をしながら担い、同時に将来に向けた地域づくりを進めることが必要となる。本科目では公共経営のあり方について学び、将来の地域社会を担うことのできる知識と考察力を身につけることを目的とする。	地域の資源を有効に活用して公共サービスの質を向上させ、地域の価値を高めるための地域経営の考え方、経営手法についての知識を習得し、地域のあり方を自ら考察することのできる力を身につける。	◎	○			○	◎		
20UBAB2302	産学教育連携論	2	産業社会が迎えた新しい構造の根底に人間と社会の危機を招いてきたものがあること考察し、新たな教育づくりを核とする産業－高等教育の間における連携を模索することを目的とする。	産業構造や企業組織の変化の現状を踏まえ、新しい構造に対応した人材像がイメージできる。 コミュニケーション能力や変化に対応するフレキシビリティの必要性が理解できる。	◎	○						
20UBAB2303	環境マーケティング	2	環境配慮型経営を実践する企業の取り組みを理解し、企業や消費者の行動が自律的に環境配慮的となる可能性について考察することを目的とする。	環境マーケティングの意義や目的について理解できる。 環境配慮的な製品や環境配慮型の企業活動を支持する消費者行動が理解できる。	◎	○						◎
20UBAB3304	公共政策論	3	公共的な課題を解決するための政策と関連する法制度を学び、政策と法制度の在り方について考察することで、社会を担う人材として必要な知識と自ら解決策を考える力を身につけることを目的とする。	公共政策の背景となる国の組織、財政制度、公務員制度など基本的な制度に関する知識を習得し、公共政策のプロセスや政策の評価について理解することができる。	◎	○				◎		
20UBAB3305	地域産業論	3	グローバル化へ向かう市場経済の一方的な拡大基調に対抗して、地域の自立・自足を志向する方向性を納得することから始め、地域社会に住み、地域社会における将来の担い手について考察することを目的とする。	地域に根差した産業が直面する現状と課題を考察できる。	◎	○			○	◎		
20UBAB3306	地方財政論	3	この授業では、学生が地方税、補助金および地方自治体が行う政策などの地方財政が住民の暮らしにどのように影響を及ぼしているのかを学び、理解できるようになることを目的とする。	学生が地方税、補助金および地方自治体が行う政策などの地方財政と住民の暮らしとの関係について理解し、厳しい財政状況のなかでも住民の暮らしを良くするための方策を考えることができるようになる。	◎	○				○		
20UBAB3307	市民協働参画論	3	これからより複雑化し多様化する社会において、課題当事者である市民による社会づくりへの主体的参画を実現するため、異なる立場の市民が課題と互いの価値を発見し、創造的解決を図る方法についての理解と習得を目的とする。	1. 市民協働参画をキーワードに、現代社会における課題の創造的解決の困難さとその必要性を理解することができる。 2. 「広報」という情報伝達が果たす役割を知ることで、市民協働参画のプロセスを理解することができる。 3. 事例研究やワークショップを通じて、市民共同参画への意識をもち、自らが市民共同参画社会の主体的な担い手となるために何が必要か、考えて行動する力を身につけることができる。	◎	○		◎	○	◎	○	◎
20UBAB3308	行政法	3	この科目では、学生が、行政法の全体像についての基礎を理解し、使いこなせることになることを目的とする。	学生が、行政法の基礎知識を習得し、いかなる意味において「憲法の具現化」であるのか、また、「民刑事法とどう異なるのか」を理解した上で、日常生活において、行政法に基づく思考や判断ができるようになる。	◎	○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号							
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性	
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2					
20UBAB3309	福祉経営論	3	この授業では、学生が福祉事業の現状について事例等を通じて学び、公共性や非営利性といった特徴を持つ福祉事業の経営に関する考え方を理解できるようになることを目的とする。	学生が、公共性や非営利性といった特徴を持つ福祉事業の現状と経営のあり方について、概要を理解できるようになる。	◎	○			○	◎		
20UBAB3310	地域政策論	3	地域の課題を解決するための地域政策に関連する法制度と実際の政策事例を学ぶことで、地域社会を担う人材として必要な知識と自ら解決策を考える力を身につけることを目的とする。	地域政策の背景となる地方自治体の組織、地方財政制度、地方公務員制度など基本的な制度に関する知識を習得するとともに、地域の課題とそれに対して行うべき政策を考えることができる。	◎	○			○	◎		
20UBAB3311	情報政策論	3	情報通信技術の発展と普及により現代は高度な情報化社会となった。情報化社会においては生活や社会経済活動において情報通信技術が広く使用されることとなるとともに、新しい情報インフラやルールが必要となる。本科目では、情報化社会において新たに必要となった最近の政策について学ぶ。	社会人として必要となる情報政策に関する基礎的な知識を身につける。	◎	○						
20UBAB3312	地域ブランド論	3	地域の衰退要因と地域を構成する主体について学び、地場産業がなぜ地域の主要な産業としての役割を担うのかについて考察することを目的とする。	地域ブランドの形成に地域の事業者がなぜ重要なのか自らの言葉で説明できる。地場産業振興と地域経済の連関性について理解できる。	◎	○			○	◎		
20UBAB3313	地域防災・復興論	3	この授業では、学生が阪神淡路大震災や東日本大震災など、自然災害に対する復旧復興事例から災害時に生じる諸問題と解決策について理解できるようになることを目的とする。	学生が防災意識をもちながら、地域における自治会等の活動に興味をもつと同時に、災害時における避難経路の確認や復旧復興におけるボランティア活動などの被災地支援の重要性について理解ができるようになる。	◎	○			○	◎		○
20UBAB3401	美容業界論	3	美容業界での就業・起業を志す学生を対象とし、今後の美容業界の発展に寄与するために必要なスキルを学習することを目的とする。	美容業界の仕組みや問題点を理解し、説明することができる。今後の美容業界に、自分はどうか貢献していきたいか、明確な目標を定められる。		◎			○			○
20UBAB3402	健康ヘルスケア産業論	3	本科目では成長著しい健康ヘルスケア産業について、業界全体像と環境変化を踏まえた上で、主要業界の市場構造や企業動向、収益の仕組みについて学ぶ。	健康ヘルスケア産業を取り巻く環境変化を理解できる。主要な健康ヘルスケア業界の市場構造や企業動向、収益の仕組みについて理解できる。健康ビジネスの未来像について理解できる。		◎			○			○
20UBAB3403	流通産業論	3	流通産業について全体像を把握し、身近なスーパーやコンビニなどの業態の事例を通じて業界の構造と企業の経営についての理解を深める。	流通産業の業態を説明できる。流通産業のサービス戦略について意見を述べるができる。		◎			○			○
20UBAB3404	ファッション・アパレル業態論	3	多様な業態に変体しながら進化する、あるいは退化する、ファッションビジネスの現在を考察してみる。	ファッションビジネスを題材にしながら、情報化社会における製品と消費者の関係、購買行動の現在・未来について洞察する力を養う。		◎			○			○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
20UBAB3405	情報通信産業論	3	日本標準産業分類の大分類にある情報通信業について、その歴史的展開とわが国における位置づけを理解するとともに、特にインターネット付随サービスに重点を置いてその事業構造を理解し、これからの情報通信業が向かうであろう方向について考える。	産業の概念とわが国の産業における情報通信業の役割と範囲を理解している。情報通信業の歴史的変遷を理解し、情報通信産業の事業モデルを理解できる。		◎			○		○		
20UBAB3406	ホテル・ホスピタリティ産業論	3	この授業では、学生が、ホテルその他のホスピタリティ業界の現状および課題について学び、その構造を理解できるようになることを目的とする。	学生が、ホスピタリティ産業の先進事例を学ぶことにより、将来他業種に就職する場合においても役立つ社会人基礎力を身につける。		◎			○		○		
20UBAB3407	フードサービス産業論	3	外食産業に関する全体像を把握し、身近なレストランやファストフードチェーンの業態の事例から業界の構造と企業の経営についての理解を深める。	外食産業の業態を説明できる。外食産業が依拠するチェーンストア理論について意見を述べるができる。外食産業で働く人々の行動を類推できる。		◎			○		○		
20UBAB3408	レジャー・エンターテインメント産業論	3	この授業では、学生がレジャーやエンターテインメントが、人の暮らしにとってどのような位置づけにあるか（意義や役割）、またそれらが成立する要件を学び、理解できるようになることを目的とする。	学生が、レジャーやエンターテインメントを単に享受するだけでなく、その意義と役割と理解し、産業として成立する要件を理解できるようになる。		◎			○		○		
20UBAB3501	専門演習Ⅰ	3	高度な学びの準拠集団を構成し、総合的な実践力を養う教育・研究の場として開講する。この演習では、研究の最初のプロセスとして行うテーマの設定、いわゆるリサーチクエストの設定について学ぶ。資料収集と文献収集、およびそれらの検討やレビューが学びの中心になる。	興味や関心を共有できる学びの集団を構成できる。収集した資料や文献を共有し、研究テーマとの関連性をもとにそれらの有効性を議論し判別できる。具体的な資料や文献に基づき、抽象的なイメージを研究テーマとして具体化できる。			○	○	◎	◎	◎	◎	
20UBAB3502	専門演習Ⅱ	3	高度な学びの準拠集団を構成し、総合的な実践力を養う教育・研究の場として開講する。この演習では、研究の第2のプロセスとして、先行研究や先行事例のレビューを詳細に行い、検討し、それらをもとに研究計画を立案する。	興味や関心を共有できる学びの集団でイニシアティブを発揮できる。研究テーマにアプローチするため、先行研究や先行事例を具体的に収集し分析できる。先行研究や先行事例の分析を通じて、具体的な研究計画が立案できる。			○	○	◎	◎	◎	◎	
20UBAB4503	専門演習Ⅲ	4	高度な学びの準拠集団を構成し、総合的な実践力を養う教育・研究の場として開講する。この演習では、研究の第3のプロセスとして、研究の進捗に関するモニターを行い、研究の実施プロセスで生じる問題や課題、新たな知見・発見などについて共有し、検討し、実施へのフィードバックを行う。	興味や関心を共有できる学びの集団でイニシアティブを発揮できる。研究を行う際の具体的な問題や課題に気づき、研究メンバーと共有し、検討できる。研究の実施プロセスで、新たな知見や発見に気づき、研究メンバーと共有し、検討できる。			○	○	◎	◎	◎	◎	
20UBAB4504	専門演習Ⅳ	4	高度な学びの準拠集団を構成し、総合的な実践力を養う教育・研究の場として開講する。この演習では、研究の最終プロセスとして、実施した研究を成果としてまとめ、報告し、その研究の意義や意味、得られた知見について検討し、評価するとともに、社会に公開するための方法についても学ぶ。	興味や関心を共有できる学びの集団でイニシアティブを発揮できる。研究成果をまとめ、報告し、その研究の意義や意味、得られた知見について検討できる。研究により得られた知見を社会的に共有する方法が理解できる。			○	○	◎	◎	◎	◎	

